

キクイモが糖代謝や脂質代謝に及ぼす影響についての研究

研究分野:生活習慣病、内分泌代謝内科、病態栄養学

キーワード:糖尿病、生活習慣病、キクイモ(イヌリン)

貢献できるSDGsの区分:



看護栄養学部 栄養健康学科 教授 世羅至子

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/nsera4061/>



研究概要

キクイモはキク科ひまわり属の植物で強い繁殖力をち、根茎部分の主成分はデンプンではなく、水溶性の難消化性多糖類であるイヌリンです。イヌリンはプロバイオティクスの1つであり、血糖値上昇抑制や脂質異常症の改善、整腸作用など様々な効果があると言われています。これまで研究室では、動物実験および若年者、中高年者といったヒトを対象にキクイモの糖代謝や脂質代謝に及ぼす影響について研究を行ってきました。動物実験においてはキクイモの継続摂取はラットのインスリン分泌を促し、インスリン感受性を保持し、肝臓内脂質を減少させることが示唆されました。人においては、健常若年者では糖代謝への効果は明らかではありませんでしたが、中高年者においては、空腹時血糖やLDLコレステロールを低下させることがわかりました。R7年度はこれまでの結果について機序を含めた検討を行っていきます。

産学連携の可能性(アピールポイント)

- ・キクイモのヒトの健康に対する効果を明らかにすることで、食事の面から糖尿病や脂質異常症といった生活習慣病の是正につながると考えます。
- ・現在市場にはあまり流通していないキクイモを、食材として有効に活用することが期待できます。

外部との連携実績等

- ① 長崎県産のキクイモを用いて大島造船所 農産グループで加工されたキクイモパウダーを用いて研究を行っています。